

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
島原市	安中地区(安徳・中木場)	令和4年1月13日	—

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	137 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	69 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	53 ha
i うち後継者未定または不明の農業者の耕作面積の合計	51 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	8 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

安中地区は、海岸線に一部水田があるが、大部分は畑地帯であり、かつて雲仙普賢岳噴火災害により農地等に甚大な被害を受けたが、その後圃場整備も実施され、現在では施設園芸(野菜・花き)や葉たばこ、露地野菜に加え、畜産による農業経営が行われている 今後も機械化等による認定農業者への規模拡大を図り、農地の有効利用を推進する必要がある 中心経営体はいるが十分ではない
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地中間管理機構を活用し、担い手への集積・集約化を図る 担い手の分散錯圃を解消する 新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する
--

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける 中心経営体のうち、野菜農家は外国人労働を取り入れ耕作地の規模を拡大し、農業経営の安定化を目指す 中心経営体のうち、酪農、肉牛、養豚、養鶏の畜産は、機械化や優良種の導入により安定経営を目指す 新規就農者については、補助事業等を活用し、経営開始に必要な機械・施設の整備を図る 今後も地域農業者による継続した話し合いにより、プランの変更を図る
--